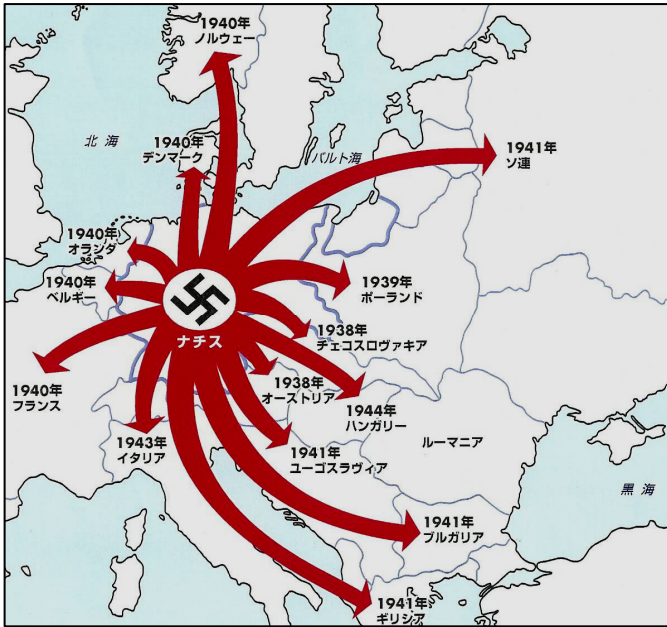


隠れ家で日記を書いた少女  
**アンネ・フランク** (1929-1945)



ユダヤ系ドイツ人だったアンネは4歳のとき、ナチスによる迫害から逃れてオランダに移住します。2年間、一歩も外へ出られない隠れ家で、アンネは家族や人間、社会について深く考え、将来の夢や平和への願いを日記に書きました。アンネは15年の短い生涯を収容所で閉じましたが、『アンネの日記』は今も世界の人々に生きる勇氣、夢を持つ大切さを伝えています。



ホロコーストは広くヨーロッパ全土、20 数カ国で起きました。**偏った教育**、世界の**無関心**、異なる宗教や習慣を受け入れることができなかった**人間の弱さ**が、この悲劇を大きなものにしました。

◆**ホームページを見てみよう**

NPO法人ホロコースト教育資料センター  
[www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo/](http://www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo/)

ホロコースト記念館 (広島県福山市)  
[www.urban.ne.jp/home/hecjpn](http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn)

アンネ・フランク資料館 (兵庫県西宮市)  
[www.annesrosechurch.com/kannai\\_01.htm](http://www.annesrosechurch.com/kannai_01.htm)

杉原千畝記念館(岐阜県八百津町)  
[www.town.yaotsu.lg.jp/sugiharatiune/kinenkan.html](http://www.town.yaotsu.lg.jp/sugiharatiune/kinenkan.html)

ハンナのかばん(英語)  
[www.hanassuitcase.ca](http://www.hanassuitcase.ca)

◆**本を読んでみよう**



『なぜ、おきたのか—ホロコーストのはなし』

クライヴ・ロートン著、大塚信監修・訳、石岡史子訳(岩崎書店)

『アンネの日記』 アンネ・フランク著、深町眞理子訳(文藝春秋)

『アンネ・フランク その15年の生涯』 黒川万千代著(合同出版)

『ハンナのかばん—アウシュビッツからのメッセージ』

カレン・レビン著、石岡史子訳(ポプラ社)

『隠れ家 アンネ・フランクと過ごした少年』

シャロンドガー著、野沢佳織 訳(岩崎書店)

『子どもたちのホロコースト』

ローレル・ホリデイ著、横山緋子訳(小学館)

『コルチャック先生』 近藤康子著(岩波ジュニア新書)

『テレジンの子どもたちから』 林幸子編著(新評論)

『テレジンの小さな画家たち』 野村路子著(偕成社)

『エーデイト、ここなら安全よ』

キャシ・ケイサー著、石岡史子訳(ポプラ社)

『夜と霧 新版—ドイツ強制収容所の体験記録』

ヴィクトール・フランクル著、池田香代子訳(みすず書房)

『六千人の命のピザ』(新版) 杉原幸子著(大正出版)

『ホロコースト全史』マイケル・ペレガム 弘著、芝健介監修(創元社)

『シリーズ20世紀の記憶 ホロコースト』(毎日新聞社)

NPO法人ホロコースト教育資料センター

〒160-0015 東京都新宿区大京町 22-1 HAKUYOHビル 6 階

TEL & FAX : 03-5363-4808

Eメール: [holocaust@tokyo.email.ne.jp](mailto:holocaust@tokyo.email.ne.jp)

FACEBOOK : <https://www.facebook.com/npo.therc>

センターは皆様の寄附、会費によって支えられています

中学生・高校生のみなさんへ

**ホロコースト**  
**Holocaust**

って何？



アウシュビッツ収容所へ送られたチェコ出身のユダヤ人兄妹、ハンナとジョージ。

**ホロコーストとは・・・**

第二次世界大戦と同時期、ヨーロッパ全土で起きた **ナチスによるユダヤ人虐殺(1933-45年)**を表す言葉として広く使われています。



NPO 法人

ホロコースト教育資料センター

[www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo](http://www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo)

**ホロコースト**(1933-45)は、科学技術や医学が発達した近代国家のもと、計画的・組織的に行われた虐殺です。殺されたユダヤ人は600万人におよび、そのうち150万人が子どもたちでした。他にも反体制者、身体障害者、ロマ(ジプシー)らが犠牲となりました。

**ユダヤ人**は、約2千年前に国を追われ、ヨーロッパ各地で暮らし始めました。キリスト教が広まったヨーロッパでは、少数派のユダヤ教徒たちは、宗教や習慣の違いから差別や暴力を受けることがありました。

### ヒトラーが登場した頃のドイツ

第一次世界大戦(1914-18)に負けて領土を失い、多額の賠償金を抱えたドイツでは、不安と不満を抱えた国民が強い指導者を求めています。ヒトラーは人々の不安をあおり、「ユダヤ人が悪の根源である」というイメージを打ち立て、国全体を憎しみで団結させようとしました。



ナチ党(国家社会主義ドイツ労働者党)の党首ヒトラー

### ユダヤ人差別の法律

**選挙**で第一党となったナチ党の党首ヒトラーは、1933年首相になりました。ヒトラーは**法律**をつくり、ユダヤ人の市民権を奪いました。ユダヤ人への禁止項目は2000にも及びました。



ユダヤ人が着用を命じられた差別のしるし(黄色いダビデの星)

### 第二次世界大戦がはじまる(1939-45)

ヒトラーは領土拡張戦争を行う中で、ユダヤ人絶滅計画を押し進めました。ヨーロッパ中に3000以上の収容所が整備され、奴隷労働、飢え、病気、毒ガスによる殺害などで多くのユダヤ人が殺されました。



ナチス最大の収容所アウシュビッツ(ポーランド)

世界遺産に登録され、歴史を学ぶためにドイツや世界中の若者が今日もこの場所を訪れています。

差別や虐殺は、今も私たちの身の回りや世界で起きています。このような悲劇が二度と起きないように、歴史から学ぶことはとても大切なことです。

### ホロコーストは、なぜ起きたのか

人間には、自分と違うものを受け入れられない弱さもあるんじゃないかな。

世界にはいろんな民族、文化、宗教、考え方の人たちがいる。どうすればお互いに尊重しあって暮らしていけるのか、考えてみよう!



### 「世界人権宣言」

Universal Declaration of Human Rights

1948年、国連は世界人権宣言を採択。すべての人が自分らしく、幸せに生きる権利をもっている。これを守っていこう、という世界共通のルールが初めてつくられました。

すぎはらちうね  
6千人の命を救った **杉原千畝**(1900-1986)



ホロコーストの時代に、命がけてユダヤ人を助けた正義の人たちが世界に約2万人いました。その中の一人、日本人外交官の杉原千畝は日本へのビザ(出入国査証)を発行して6千人の命を助めました。

### ホロコーストから学ぼう

アンネの隠れ家生活を助けた  
**ミーブ・ヘース**さんからの  
メッセージ



「当時ドイツの家庭や学校で、子どもたちは親や先生が「あのアメリカ人」「あの日本人」「あのユダヤ人」という言い方で話すのを聞いて育ちました。その結果、子どもたちはすべてのユダヤ人が同じことを考え、同じように行動すると信じてしまいました。大人になってもそう信じていました。みなさんをお願いしたいのは、**一人ひとりの人間を一人ひとりとして見てほしいのです**。どうか、その人が何を言い、何をしたかにもとづいて考えてみてください。うわさや偏った見方に左右されずに。」

「犠牲者になるな。加害者になるな。そして何より傍観者になるな。」

イエフーダ・バウアー(ホロコースト歴史家)

「一人の命を救うものは、世界を救う」

ユダヤ人の教えより